令和2(2020年度　江戸川区立鹿本小学校　学校関係者評価　最終評価用報告書

学校教育目標	◎考える子 〇やさしい子 〇たくましい子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	〇学校習慣や生活習慣を基盤とした確かな学力を身に付けた児童【考える子】 〇善悪の判断力や規範意識、思いやりの心をもった児童　【やさしい子】 〇何事にも積極的に挑戦し、自ら体を鍛えようとする児童　【たくましい子】 〇鹿本の子として誇りをもつ子
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞いじめアンケートやQUテスト等により、友達との関係を教員が把握することで問題の未然防止に努めることができた。 ＜課題＞確かな学力の定着については今年度も昨年度と同様に課題として取り組んでいく必要がある。課題を克服するためにも教師の授業力向上に努めたい。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	小中連携教育の日を中心に、授業観察や交流授業を行う。年3回	全教職員が年3回の連携日に参加をする	C	C	新型コロナウイルス感染症により、取り組むことができなかった。	C	新型コロナウイルス感染症により、取り組むことができったのは残念	現状が改善されれば、全てに参加をする。
	地域との連携の推進	学校応援団との連携	学習ボランティア…毎日 お話しバンビ…隔週金曜日	毎日…100% 隔週金曜…100%	C	C	新型コロナウイルス感染症により、取り組むことができなかった。	C	新型コロナウイルス感染症により、取り組むことができったのは残念	現状が改善されれば、協力をいただく。
	地域との連携の推進	保護者への周知	学校ホームページの活用 学校・学年だより等での周知	毎月の更新…100% 毎月の更新…100%	A	A	ホームページに様々な情報を掲載することができた。	A	とても良いと思う。継続して行ってほしい。	今後も継続して行う。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICTを活用し、「分かる授業」「考える授業」を作る　計20回	全教職員の80%以上が理解を深め授業力を向上させる	A	B	図工室や音楽室の環境が整っていないので、改善していく。	B	ICT活用については、今後も頑張っていってほしい。	施設面での充実を区と調整し図る。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	特別支援委員会を開き、特別支援の理解を深める	全教職員の90%以上が特別支援について理解を深める	A	A	校内で情報共有ができた。今後も継続して行っていく。	A	理解し合うことが重要。今後も継続して行ってほしい。	今後とも継続して行う。
	校内研究の推進	学力向上を目指す授業力向上の実践(算数科)	年6回の研究授業	全教職員の90%以上が校内研により授業が改善できた	A	B	実践はしっかり行ったが、それが学力向上にはつながっていない。	A	学力につながる力を身につけていってほしい。	充実した校内研究を行う。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	年35回の一斉補習教室	年間35回…100%	A	A	今年度は集会等が無かったため、46回行えた。	A	多く行えことは良かった。 理解を深めるには大切。	来年度は放課後補習教室を充実させる。
	読書科の更なる充実	図書館司書による学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	月3回の金曜日に図書室及び閲覧室の整理	月3回金曜日に行う	A	B	図書館司書の活用が不十分だった。 本を読んだ後に、作品の紹介カードを作成する等の活動を積極的に行った。	B	今後の図書館利用に期待する。 個の確立のために必要	より一層の読書科の充実を図る。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	運動あそび…毎週金曜日	毎週金曜日に行う	C	C	新型コロナウイルス感染症により、取り組むことができなかった。	C	新型コロナウイルス感染症により、取り組むことができったのは残念	毎週金曜日に行う。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	1年生は年間35時間　実施 他学年は年間35時間　実施	授業時間内に触れる…100%	A	B	新型コロナウイルス感染症により、全てに取組むことができなかった。	B	今年度は残念でした。 来年度に期待をします。	外部講師をお呼びし充実させる。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	教員がT1として授業を行い、ALTと協力する	全教職員の90%以上が外国語教育に興味をもつようにする	A	B	ALTと連携を密にすることで、これまで以上に良い授業が行える。	B	英語は大事だと思います。 来年度に期待をしています。	今後もALTとの連携を大切にする。
豊かな心の育成	教育相談の充実	いじめアンケートやQUテストの実施により、問題を早期に把握し、対応をする。	いじめアンケート…年2回 QUテスト…年1回	年間2回…100% 年間1回…100%	A	A	いじめアンケートから、問題が分かり解決につなげることができた。	A	アンケートだけでなく、日常の行動からも注意していってほしい	日々の児童の看取りも確実に行う。
	自他を大切にする心の育成	年間指導計画に沿った道徳科授業の確実な実施	1年生は年間34時間　実施 他学年は年間35時間　実施	100%実施する	A	A	計画通りに実施することができた。	A	来年度も引き続きお願いいたします。	来年度も計画通りに行う。
	自他を大切にする心の育成	異学年の学び合いによる豊かな心の育成	縦割り班活動…月1回実施	月1回実施する	C	C	新型コロナウイルス感染症により、取り組むことができなかった。	C	新型コロナウイルス感染症により、取り組むことができったのは残念	月1回の実施をする。
学校力の向上	組織力の向上	組織的な対応を基盤とした安心・安全な学校づくり	怪我、安否確認等を優先事項として取組む	ホウレンソウを確実に行う	A	A	ホウレンソウをこれまで以上に徹底して行っていく。	A	迅速な対応を今後もお願いいたします。	今後も継続して行う。